施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	П	豊かな自然と共生するまち	主管課	 農林課 原澤 真治郎	SUSTAINABLE GOALS
施策	16	獣害対策の推進	関係課		11 8:000.00 15 8:00°** A

	対象	意図			基本事業名	対象	意図
施					鳥獣が出没しにくい 環境整備	町民	鳥獣による被害の危険性が軽減さ れる。
策の	町民	鳥獣による被害にあわない。	基本事	2	農林産物被害の軽減	農家	鳥獣による農林産物の被害が軽減される。
的	#1A	「病動(による)(X)古(この)4/パよV・。	業	3	人的被害対策の推進	町民	鳥獣による人身被害にあわない。
				4			

- ・地域住民と行政が一体となり、野生鳥獣が出没しにくい環境整備を推進します。 ・被害関係者と恊働による侵入防止柵等の守る対策や、追い払い活動を推進するとともに、捕獲活動を強化し、鳥獣被害の軽減を図ります。
- ・出没・目撃情報の収集と提供により、事故の未然防止や安全確保に努めます。

	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A 鳥獣による農林産物被害金額	千円	実績値	7,455	7,221	6,454	5,952	12,893	18,871	
	A 局歌による展外座物板音並領	TH	目標値		7,500	7,000	6,500	6,000	6,000	6,000
施	B 鳥獣による農林産物被害面積	1	実績値	9.0	8.4	8.6	7.7	7.6	8.5	
策の	B 鳥獣による農林産物被害面積	ha	目標値		9.0	9.0	8.5	8.0	7.5	7.0
成	C		実績値							
果指			目標値							
標	D		実績値							
	D		目標値							
	Е		実績値							
	L		目標値							

A)B)被害が減少すれば対策の効果が現れているといえるため、成果指標とした。 (野生鳥獣による農作物の被害状況調査により把握)

実績値の把握方指標設定の考え

A)B)農業被害額は2016年で約7,500千円であるが、有害鳥獣の出没目撃数が隔年で増減し、成り行き値では想定できないが、侵入防止柵(電牧柵)の設置 支援や追い払い、個体数調整(捕獲)などに取り組むことにより、被害額・被害面積の増加を抑制する。

目標値設定の考え方

の役割分担的・目標達は

施策を取り巻く状況

1. 町民(事業所、地域、団体)の役割

- ・未収穫農産物や野菜くず等を農地に放棄しない。
- ・出没した鳥獣の追い払いを行う
- ・農地の荒廃化を防ぎ、集落に隣接する林野の刈り払いを行うなど、獣が出没し にくい環境を整備する。

- ・獣が出没しにくい環境を整備するための支援を行う。
- 有害鳥獣の個体数調整を行う。

1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?

- ・鳥獣保護法が改正され、以前より駆除等に取り組みやすくなった。 定の条件のもと捕獲業務を民間事業者に委託が可能となっている。
- ・県の適正管理計画(シカ、イノシシ、サル、カワウなど)の策定により、捕獲目標 頭数が明確に示された。基本的には個体数を減少させ被害額の軽減に努めるこ とであるが、サルについては群れの数を83群から50群(平成15年度水準)として おり、広域による取り組みが求められる。
- ・イノシシやシカやクマ、サル等の市街地への出没が確認されており、獣害対策 は中山間地域の課題では済まなくなっている。

施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・農林業で獣害被害に不安を感じるとの意見が多くある(町民アンケート)。
- ・有害鳥獣の駆除を可能な限りしていただきたい(町民アンケート)。
- ・獣害パトロールによる成果が見えにくい(町民アンケート)。
- ・電気柵設置の要望が多くなっている。
- ・捕獲個体の処理施設の設置要望がある(捕獲従事者や議会議員から)。

| 16 | 獣害対策の推進 | 主管課 | 名称 | 農林課 | 課長 | 原澤 真治郎 |

			実績比較	背景·要因
			かなり向上した。	鳥獣による農林産物被害面積は、令和2年度7.6haから令和3年度8.5haと増加した。鳥獣による農林産物被害額は令和2年度12.893千円に対して、令和3年度は18,871千円と増加している。これらの要因は、シカの出没が多くなり単価の高い果樹への被害が増えたためである。ニホンザル
	① 時		どちらかといえば向上した。	については生息地域が拡大しており、ネギやナス畑が全滅するなどの被害もある。また、桃やリンゴといった単価の高い果樹の被害が増えており被害額が増加している。ハクビシンの捕獲頭数
	系列		ほとんど変わらない。(横ばい状態)	も増え、リンゴ・ブドウ等への被害も発生しており被害金額が急増している。 令和3年度は侵入防止柵(電牧柵等)を25地区、23、2km設置し(累計約233km)整備している。ま
施策	比較	V	どちらかといえば低下した。	た、地域での追い払い活動を推進するため、追い払い用煙火を支給して地域ぐるみの取り組み等が行われるているが、侵入対策の無い圃場や、追い払いの効果が薄いところでは被害が発生している。
の成			かなり低下した。	
果 水 準	2		かなり高い水準である。	①令和3年度の農地面積被害割合は、みなかみ町0.33%、沼田市0.09%、片品村0.81%、川場村0.10%、昭和村0.06%。 また、農地1ヘクタールあたりの被害金額は、みなかみ町5,341円、沼田市823円、片品村5,105円、川場村2,820円、昭和村2,822円という結果であった。地形や標高等
の分析	他団体と		どちらかといえば高い水準である。	条件は異なるが、単位面積に換算し比較すると、どちらかと言えば低い水準といえる。
ے			ほぼ同水準である。	※管内各市町村の農地面積は令和元年度固定資産の概要調書を参照。 みなかみ町2413.7ha、沼田市4207.9h a、片品村1045.8ha、川場村524.8ha、昭和村2667.9ha
背景・		V	どちらかといえば低い水準である。	
要因			かなり低い水準である。	
の考察	3	3	目標値を大きく上回った。	①被害金額目標値6,000千円に対して実績値18,871千円、被害面積目標値7.5haに対し実績値8.5haとなり、被害額・被害面積ともに目標を達成しなかった。
<i>"</i>	標		目標値を多少上回った。	
	の達成		ほぼ目標値どおりの成果であった。	
	状況	V	目標値を多少下回った。	
			目標値を大きく下回った。	

		基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			Α	鳥獣追い払い用花火等の配布数/	個/人	実績値	4,927/178	3,272/181	3,514/190	3,710/194	5,170/194	4,080/215	
	1	鳥獣が出没しにくい環境整備	Л	追い払い煙火受講者数	四/人	目標値		5,000/181	5,000/185	5,000/190	5,000/195	5,000/200	5,000/200
	1	高級の四次の10、以外正備	В			実績値							
基			ם			目標値							
本			Δ	 侵入防止柵の延長	km	実績値	8.7	8.2	4.9	20.5	21.2	23.2	
事	2	農林産物被害の軽減	11	(文人的)正価 ジン 進長	KIII	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
業	業 の	展作性物版目の程//	В			実績値							
0			Ъ			目標値							
成			Α	獣による人的被害者数(町内の人/	件	実績値	0/2	0/1	2/2	0/0	1/1	0/0	
果指	3	 人的被害対策の推進	11	町外の人)	111	目標値		0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
標	J	八山灰日月末の正定	В			実績値							
IN	4		Ъ			目標値							
			Α			実績値							
			11			目標値							
	I		В			実績値							
			ם			目標値							

		基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
今後の	1	鳥獣が出没しにくい環境整備	①有害鳥獣誘引の原因となる放任果実等を取り除く必要がある。 ②ニホンジカによる環境破壊を低密度のうちに抑える必要がある。 ③生活圏への出没を防ぐため、林縁部の刈り払いや森林	①放任果実等の持ち主に撤去等の周知を図る。また、伐採を進めるため経費に対する補助の検討をする。 ②赤谷プロジェクト等関係団体と情報交換し対応策を検討する。 ③地域の方々による林縁部の刈り払いの実施や、自伐形林業協議会との連携による森林整備を検討する。
課題と取り組み(案	2	農林産物被害の軽減	②侵入防止柵を少人数で整備しているため、非効率であることから広域的な取り組みが必要である。 ③ニホンザルの個体数管理。	①有害鳥獣捕獲隊員を確保するため、狩猟免許取得経費、銃所持免許経費の補助。 ②侵入防止柵を集落全体を囲うように地域ぐるみで協力できるように推進して行く。 ③ニホンザルの行動域の把握・大型捕獲檻の有効活用。 ④捕獲鳥獣処理施設の検討。
)	3	人的被害対策の推進		①登山道等への注意を周知する看板の設置及び町報や回覧による注意喚起を継続的に行う。更に頻繁に出没する個体については積極的に捕獲する。 ②獣害パトロールの活動周知。

תורו	+	л.	口下风	(무선	+	л	口史初
令和	4		日作成	(令和	4	_	日更新)

車型	务事業	000001		有害鳥讐	计量器	集将局 3	車坐				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	8,128,9	008 III
- -12	7年本	000001		日百二二	IN 1 HI 13	5大川	尹木						事 未具	0,120,3	730 1
施	施策	16	6	獣害対領	乗の丼	推進					イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ハクビシン、ア ライグマの捕獲及び処分することにより奨励金を	捕獲奨励金の増額	;	事業実績	
策体系	基本事業 02 農林産物被害の軽減										<u>交付する。</u> -				
糸	基本事業	美 02	2 /	農林産物	勿被冒	言の軽減	減				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	奨励金支払件	数	
	組織名 農林 課 獣害対策					分生		伭	有害鳥獣の捕獲資格者は、捕獲活動を生業とし						
	組織名	職名	/35	2111	11.		BA D	M 12		DK.	行告場談の捕獲員指信は、捕獲活動を主来としていないため、活動を充実させることは個人の負担が増加する。	奨励金の増額	令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	事業 期間 継続事業		会				目	2	1年が予めた。 住民の理解を得ることはもちろんのこと、行政に よる支援を充実させる必要がある。	X 100 3E V 7 1€ DX	245	301	件		

令和	年		月	日	作成	:	(숙	和		年	月	日更新)				
車数	事業	000001	4	害鳥獣	信却	allo 隹。	答理	車業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2.861.1	105 E
775	学 未	000001	79		IH TO	X4X*	日生	于木			右宝良獣の	出没及び被害状況の情報を収集し、		事 未良	2,001,1	103 1
+4-	施策	16	獣	害対策	の推	ŧ進					農林産物等の	D被害低減に役立てる。また、猿追	出没・目撃情報を有効活用する方法の検討		事業実績	
施策	20214										び捕獲野猿麻	森 森 森 帝 用 薬 剤 購入、野 猿 追 跡 調 査 員 の 委 託 契 表 長 の 表 に の に る に の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 の 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。				
体系	基本事	業 01	息	獣が出	没し	にくい	環境 🤻	整備						追跡調査員数	t	
			,,					pio				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
	組織名		農	林 課 獣害対策					係							
	祖臧名 辰1			141.	HAT.		DV D	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			出没情報等』	又集した情報を農作物被害の低減に	特になり	令和 2年度	令和 3年度	単位
事業			会計	1	款	6	項	2	目	2	役立てる必要	感がある 。	131-00	5	5	人
期間																

令和	:	年	月		日作成 (令和								日更新)					
車発	事業	0000	103	鳥獣被	宝 公 语	6宝施		党事当	¥			1	事務事業の内容	(③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2.595.	165 円
7-33	<i>-</i>	0000		W 170 6W	מנאם	K _ /////		D + 1								子术员	2,000,	100 11
tota:	施急	衰	16	獣害対	策の排	推進							実施隊を編成し対象鳥獣(ニホン	ر ر	持になし		事業実績	
施策												い払	い及び捕獲を行う					
体系	基本	基本事業 01 鳥獣が出没しにくい環境整備											ニホンザル捕	獲数				
					Xが正没しにくい環境登開							2	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
	組織名		ļ	豊林	課		三十規	宇対策		係	・実施隊員は実施隊活動を生業としていないた							
	小丘 中联 1口		,	支作	杯		=^=	5 N W		环	め、沽動を		させることは個人の負担が増加		持になし	令和 2年度	令和 3年度	単位
事業期間	事業 継続事業	・住民・					えることはもちろんのこと、行政 させる必要がある。	(I= 1	191C-40	110	157	頭						

令和	ź	Ŧ	月		日	作成	:	(:	令和		年	月		日更新)							
事務	事業	0000	004	鳥割	状被害	防止	ニパトロ	ו,—ו	少事業				1)事務事業の内容	7	③課題解決のため	取り組んだ事、その結果	事業費		1,707,0	009 円
施策	施策	Ę	16	獣害	言対策	の推	進					臨時職員としてパトロール隊員を雇用して、捕獲オリの設置・見回り・捕獲・処分を実施する他、有害鳥獣の追い払いパトロールを実施する。					に関わり、出没情報の収 いための指導の実施。		事業実	軽積	
策体系	基本事業 01 鳥獣が出没しにくい環境整備								整備				2)事務事業の課題	į	④今後のブ	5針·課題解決策	有害鳥獣の	補獲数		
:	組織名	農林 課 獣害対策 (美者が追い払い活動	に参加できる	引き続き猿檻の管理	里捕獲は継続しながら、地	令和 2年	度 令和	3年度	単位						
事業期間			į.	会計	1	款	6	項	2	目	2	仕組みづく	Ŋ			域の要望等の聴取	も行う。	696		1216	頭

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

車系	務事業 000002 囲いわな・捕獲おり貸出事業								① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費	251 /	163 円
7-17	9年 000	7002	西い17な	TH12	反のグ貝	山尹木					尹 未貝	231,4	103 11
施	施策	16	獣害対策	の推	進進				囲いワナ・捕獲オリ等の有害鳥獣の捕獲用具を 購入し必要に応じて貸し出しを行う。	ククリワナを中心に捕獲資材を貸し出し	4	事業実績	
策体系	基本事業	02	農林産物	********	この転送						貸し出し件数	+イノシシ檻+ク	5600
	本 中未	02	辰怀连彻	JTIX TE	すりノギエ <i>川</i> 攻				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	ナ)	エイノンン位下り	7999
	組織名	名 農林 課 獣害対策 係				ŧ	係			令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	事業 継続事業		継続事業 会計 款 6 項 2 目 2					2	地域の協力、わな免許の取得者を増やす。	捕獲資材の修理、整備	1100	1100	件

令和	年	月	日作成	(令和	年	月	日更新)

車黎	系事業	0000)U3								① 事務事業の内容 ③課題解決のため取り組んだ事、その結果					006 円	
77 17	于木	0000	,00											- 事業費 896,0		,00 1	
施	施策	i	16									払いの貝付 (韓日玉、舩休田3建光寺)で購入し、	動物駆逐用煙火の新規資格取得及び更新経 費に対して費用を町で負担した。	事業実績			
策												農業者等追い払いを実施する方に交付する。	質に対して食用を呼て食性した。				
体系	系 基本事業 02 農林産物被害の軽減						减						資材(轟音玉、駆除雷3連発等)交付				
												②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	件数			
	組織名 農林 事業 期間 継続事業 計		農林 課 獣害対策 係					半3	主分生		拯						
			矮1个						辰未有寺に慎慳的に追い払いに励力してもり7必	動物駆逐用煙火免許費用の補助を行う。	令和 2年度	令和 3年度	単位				
事業期間			1	款	6	項	2	目	2	要がある。	を	3710	5170	本個			

	令和	年	月	日作成	(令和	年	月	日更新)
--	----	---	---	-----	-----	---	---	------

車数	事業	0000	204	猟友会活動事業								① 事務事業の内容 ③課題解決のため取り組んだ事、その結果				75 四	
777	于木	0000	J04											事業費 1,812,075		775 11	
施	施策		16									利根沼田猟友会月夜野支部、水上支部、新治支	狩猟者登録に必要な経費の一部を補助した。	事業実績			
策	ne l											部の運営全般に渡る事務を行う。					
系								减						- 猟友会員数			
					100 11 100 100 100 100 100 100 100 100							②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
	組織名							第校津		係							
	43T 43C - F3										新規入会者が少ないため、高齢化が進んでい	狩猟免許の新規取得経費の補助を行い、有	令和 2年原	令和 3年度	単位		
事業期間	事業期間継続事業		会計	1	款	6	項	2	目	2	త ం	害鳥獣捕獲隊員の確保する。	104	101	٨		

令和	年	月	日作成	(令和	年	月	日更新)

車務	事業 00	00005	有害鳥獣侵入防止柵設置等補助事業 —								① 事務事業の内容 ③課題解決のため取り組んだ事、その結:				978 円	
77 17	9米 0	,0000	有百局的区人则亚洲 故臣守 州 助争未							本			事業費 35,307,978		770 1	
施	施策	16	獣智									地域の要望に対応し、設置地区数、延長距離が大幅に増えた。	事業実績			
策			NO NO NECE								金の交付。	か入幅に増えた。	電気柵設置力所数			
体系	基本事業	02	02 農林産物被害の軽減													
	,_,										②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
	組織名 農林 [林 課 獣害対策 係				宝 公害		区						
											電気柵を設直していない田畑寺に有吉鳥歌が出	毎年20km程度の設置を計画している。 小さい囲いよりも、林縁部や圃場一帯に設置	令和 2年原	度 令和 3年度	単位	
事業期間			会計	1	款							する方法を検討する。	6	13	力所	